

謝 辭

なんとか論文としてまとめ上げることができました。ここに至る最初から最後まで、お忙しい中、注意散漫で衝動性の高い私を辛抱強くご指導いただいた前川久男先生に深謝いたします。これからもご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、ご恩は少しずつでもお返しできればと思います。心身障害学系の諸先生方にも貴重なご指導ご鞭撻を賜りましたが、中でも卒業論文、中間評価論文、そしてこの博士論文の差読をしていただいた加藤元繁先生、小林重雄先生（吉備国際大）、高橋正雄先生、竹田一則先生、宮本信也先生、吉野公喜先生に感謝申し上げます。

データ処理、分析にあたっては、交流会、学会などの場をはじめとして他大学、他機関の先生方にもご指導、ご助力いただきました。佐々木日出男先生（海上寮）には学系在籍中からお世話になり、脳波を研究するきっかけを作っていただきました。そのご縁で、平松謙一先生（琉球大）、福田正人先生（群馬大）、岩波 明先生（東大）、伊藤憲治先生（東大）、笠井清登先生（東大）をはじめとする東大CP研の諸先生からご助言いただくこともできました。

堅田明義先生（金城大）、尾崎久記先生（茨城大）にはデータ処理、分析、解釈といった論文執筆の核となる部分についてご助言いただき、海外で発表する機会を作っていただくまで、本当に暖かいご指導をいただきました。ありがとうございます。また、勝二博亮先生（茨城大）、平野幹雄先生（東北文化学園大）をはじめとする、分野が近く実績もある先生方にも、無知な私にいろいろとアドバイスをいただきました。これからもお世話になると思いますが、よろしく願いいたします。

前川研究室の関係者の方々には、研究を進めるうえでご理解をいただいただけでなく、人間的にも発達途上の私を辛抱強くご指導いただき、陰ながら支えとなっていただきました。中山 健先生、今中博章先生、佐藤克敏先生、石川由美子先生、東原文子先生、佐藤晋治先生、小曾根和子先生といった諸先輩方には分野が異なるにもかかわらず貴重なご助言、ご指導を賜りました。論文執筆をともにした岡本 倫さん、木村早智子さんに感謝申し上げます。また、論文提出にあたっては本年度研究室に所属したために別府さおりさん、増南太志君、岡田明子先生、林黛姫さん、藤井美和子さん、加藤美穂さん、若井広太郎君、出水悌二先生には貴重な時間を割いてご助力いただきました。ありがとうございます。

また、心身障害生理・心理学研究会関係者にはご助力、ご助言をいただきました。白垣 潤君、永井伸幸先生とは同期として論文執筆をともに支え合っていたいただきました。これからもよろしく願います。長谷川桜子先生（つくば国際大）には時には叱咤激励されながらも暖かいご指導、ご助力をいただきました。風邪をおして様子をうかがいに来てくださったことは忘れません。

そして、同じ研究室でもあった大平 壇先生には、本学在学中には研究の進め方の根幹となる部分を理解の悪い私に辛抱強くご指導いただいただけでなく、しめきり直前に文章の校正をお願いする暴挙をとったにもかかわらず、お忙しい中緻密な校正をしていただきました。ご指摘にすべて答えられたとは思えませんが、これからもよろしく願いいたします。また、細川美由紀さん、川久保友紀さんには、ご自分の論文があるにも関わらず手足となってご助力いただきました。本当にありがとうございます。

実験の実施に関しては、土浦市立穴塚小学校、竜ヶ崎市立松葉小学校、仙台市立長町中学校、そして下館市立下館小学校の生徒さん、諸先生方にご理解、ご協力をしていただきました。また、脳波記録という面倒な実験に参加してくださるお子さんの手配には、三代知子さんにご助力いただきました。ありがとうございます。

そして、ADHDのお子さんの実験には、最初から最後までNTT東日本伊豆病院小児リハビリテーション科の二上哲志先生、立川和子先生、松田素子先生、市川正嗣先生に本当に暖かいご助力、ご協力をいただきました。先生方の支援なしには実験を6年にわたって続けることはできませんでした。また、伊豆での実験に際しては小曾根和子先生にもご助力、ご協力をいただきました。

ここまで何とかやって来れたのは、本当に皆さんが暖かく見守ってくださったおかげだと思っております。本当に、ありがとうございました。これからも、よろしくお願いいたします。

また、好き放題をさせていただいた両親、親類の方々にも感謝申し上げます。

特別研究員として採用していただき、身分不相応な経済的援助をしていただいた日本学術振興会に感謝申し上げます。

最後に、本論文の対象児・者としてかかわってくださったすべての皆さまに、深謝申し上げます。特にADHDをおもちのお子さん方と保護者の方々に感謝申し上げます。皆さんがご理解くださったからこそ、この論文は存在しえたと思います。これから皆さんのお役に少しでも立てるように研究を進めていきたいと思っております。

本当に、ありがとうございました。

平成12年 月 日